

令和5年(2023年)7月31日  
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

## 【情報提供】琵琶湖でのアオコの発生について(第2号)

令和5年7月31日(月)10時頃、当課の職員が矢橋船溜および烏丸半島北側でアオコの発生を確認しました。琵琶湖環境科学研究センターでプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでしたのでお知らせします。

琵琶湖におけるこれまでのアオコの発生状況は、滋賀県ホームページ「今日の琵琶湖」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)をご覧ください。

### 記

#### アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン (群体数/mL)
矢橋船溜 (草津市矢橋町)	7月31日 9時55分	5m×3m	4	31.8	ミクロステイス属 60 アナバナ属 15,000
烏丸半島北側 (草津市下物町)	7月31日 10時35分	30m×3m	5	32.5	ミクロステイス属 6,900 アナバナ属 720

#### 〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。

#### 【写真】



矢橋船溜で確認されたアオコ



烏丸半島北側で確認されたアオコ